

第13回 ソーシャルワーカーデー

「次世代を担うソーシャルワーカーと ともに考えるソーシャルワークのミライ」

日
時
・
場
所
等

2025年10月25日（土）

13:30～16:30

（13:00～受付開始）

鹿児島国際大学 坂之上キャンパス 710教室(7号館)

【鹿児島市坂之上8-34-1】

【趣旨】

地域には多様な人の生活があります。誰しも日々生活していく中で、生きづらさを感じていたり、時に何らかの困難に直面し支援を必要とすることがあります。誰もが地域でよりよく生きていけることを目指して「地域共生社会」という言葉を聞くようになりました。そして、地域でだれもがよりよく生きていけるように、住民や行政、様々な機関とそこで働く専門職が連携、協働しています。そして、ソーシャルワーカーは支援の必要な人と地域をつなぐ役割を果たすことが期待されてもいます。しかし、実際はソーシャルワーカーって何をする人なのだろう？何を目標しているのだろう？その専門性はどこにあるのだろう？という疑問を持つ人も多いのではないかと思います。そして、今ソーシャルワーカーを目指している学生やソーシャルワーカーになって間もない人たちも同じような疑問を持っているかもしれません。

そこで、今回のソーシャルワーカーデーでは、ソーシャルワークの仕事の意味とともに考え、語り合い、学び合うことによって、かかわる領域や分野、世代を超えて、ソーシャルワーカーやソーシャルワーカーを目指す学生たちが出会い、つながるためにそれぞれの今いる場所で考えていることや体験していること、疑問などを語り合い、ソーシャルワーカーはどこに向かうのか、何を目標するのかを考えたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。



ソーシャルワーカーデー

社会福祉関係の全国団体（17団体）で構成するソーシャルケアサービス従事者研究協議会では、2009年度より、毎年、国民の祝日である「海の日」を、わが国の「ソーシャルワーカーデー（Social Workers Day）」とし、ソーシャルワーカーである社会福祉士と精神保健福祉士の役割や取り組みを国民に知っていただく日としました。鹿児島県のソーシャルワーカー各団体でも2010年からソーシャルワーカーの活動を知っていただくため7月に講演会等を実施しています。

申込締切：10月21日（火）

※定員になり次第締め切ります

定員：150名

※定員を超えた場合のみご連絡いたします
申込された方は当日直接会場へお越しください

お申込みはQRコード、
又はURLからお申し込みください。

<https://x.gd/AVj46>



【内容】

はじめに

開会の挨拶・各団体の紹介 13:30 ~ 13:50

対話的シンポジウム

時間: 13:55 ~ 15:40

テーマ: 「ソーシャルワーカーとして大事にしたいこと」

登壇者: 鹿児島国際大学社会福祉学科 学生3名

坂元佑歌氏 (鹿児島県社会福祉士会・地域生活定着支援センター)

松下真大氏 (鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会・小原病院)

永田悠果氏 (鹿児島県精神保健福祉士協会・今村総合病院)

座長: 有馬修美氏 (鹿児島県社会福祉士会・社会福祉法人大一会星空の里施設長)

まとめの講義

時間: 15:50 ~ 16:25 (質疑5分含む)

テーマ: 「次世代を担うソーシャルワーカーとともに考える
ソーシャルワークのミライ」

講師: 桑原主税氏 (鹿児島県精神保健福祉士協会・森口病院SW)

【交通アクセス・駐車場】

駐車場はフィールドハウス横の来客用駐車場をご利用ください。

駐車場



鹿児島国際大学 坂之上キャンパス 7号館
鹿児島市坂之上8-34-1

